

一般道道モアショロ原野螺湾足寄停車場線モアショロ原野地区の環境影響に関する懇談会における生物情報公開ルールは下記のとおりとする。

【目的】

生物情報が公開されることにより、希少植物の盗掘や希少動物の生息及び生息環境が脅かされる可能性があるため、公開内容を十分に検討し、未然にそのような事態の発生を防ぐことを目的に懇談会における公開ルールを定める。

【要保全対象生物の公開に関する基本的なルール】

- ① 重要種（環境省又は北海道レッドリスト最新版記載種）の中から、当該地区において特に留意が必要な種類及び、重要種ではないが構成員から指摘がある種類については、「要保全対象生物」とし公開について検討する。
- ② 種名の公開が要保全対象生物に対して悪影響があると想定される場合は種名を公開しない。
- ③ 要保全対象生物の生育・生息情報（位置・規模等）については、公開により不要にカメラマンや興味本位の人間を誘引する可能性があり、個体への影響や環境の改変が危惧されるため、非公表とする。
- ④ 情報の公開・制限内容については懇談会で決定する。

ただし、ワークショップ等において生育・生息情報について求められた場合は、支障のない範囲で情報を提供することとする。

【公開について留意が必要な要保全対象生物】

分野	種名	懇談会での意見聴取結果
植物	なし	生育地がこの地区に限定されている種がないこと、山野草マニアの採集対象となる種がないため、種名の公開は問題ない。
哺乳類	なし	
鳥類	クマガラ (種名公開)	当該地区に生息していることは予想されることであり、種名を非公開にすることは調査精度の信頼性が疑われる。 しかし、古巣及び食痕位置情報が公開されることで不要にカメラマンや興味本位の人間を誘引する可能性があるため、個体確認位置を含む情報は非公開。
	他の重要種 (種類により種名非公開)	公開がその鳥類の生息に悪影響を及ぼす可能性がある場合は種名を含めて非公開とする。
爬虫類	なし	
両生類	エゾサンショウウオ (種名公開)	産卵地が公開されることで不要にカメラマンや興味本位の人間を誘引することにつながりかねないため、個体確認位置を含む情報は公開しない。
底生動物	ニホンザリガニ (種名公開)	生息地が公開されることで不要にカメラマンや興味本位の人間を誘引することにつながりかねないため、個体確認位置を含む情報は公開しない。
昆虫類	なし	生息地がこの地区に限定されている種がないこと、昆虫マニアの採集対象となる種がないため、種名の公開は問題ない。